

外国語〈外国語〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
英語 1	b		11601	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
釜須 久夫	選択	1				

授業の到達目標

将来、保育士を目指す学生に必要とされる語彙と知識を学習する。保育の現場で役立つ表現と語彙に取り組みながら、読む、書く、話す、聞く、の4技能の実用能力の向上も図る。このクラスではKAISEIパーソナリティのIn(国際性)を養う。

授業の概要

テキストに沿って、様々なシーンを一回1ユニットづつ授業を進める。毎回キーワードの小テストを実施し、確実に語彙を増やしていく。

授業計画

1. Pre-unit Please Speak More Slowly
2. UNIT 1 Hi, I'm Yuri Tanaka
3. UNIT 2 Where Is the Multi-purpose Room ?
4. UNIT 3 Good Morning, How Are You Today ?
5. UNIT 4 What Color Do You Like ?
6. UNIT 5 There's a Ladybug on the Leaf
7. UNIT 6 It's Time to Play Outside
8. UNIT 7 She Is Allergic to Eggs
9. UNIT 8 You Should Go to the Bathroom
10. UNIT 9 We Made Masks Today
11. UNIT 10 If It Rains, What Happens ?
12. UNIT 11 What Shall We Do Today ?
13. UNIT 12 I Feel Feverish
14. UNIT 13 This Is Yuri from Cosmos Day Care Center
15. UNIT 14 Thank You Very Much for Everything & 試験

授業の方法

テキストに沿って毎回1ユニットづつ進めていく。

準備学修

必ず指定された個所を予習、復習してくること。

課題・評価方法

平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席は原則として認めない。欠席の場合は原点の対象とする。

テキスト

Happy English for Childcare 土屋麻衣子著 金星堂

留意事項

必要に応じて、授業中に指示を行う。

教員連絡先

sam@alohawalker.net

外国語〈外国語〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
英語 2	a		11605	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
入江 和子	選択	1				

授業の到達目標

保育や幼児教育の現場でよく使われる英語表現・語彙を習得するとともに、4技能(聞く、話す、読む、書く)を効果的に学習し、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。このクラスでは、KAISEI I パーソナリティのIn(国際性)を養い、K(思いやり)を考える。

授業の概要

Children's Gardenという国際的な保育園を舞台に、一人の学生が保育の実習を通して成長していく体験を読み進める。さまざまなタスクを通して基礎的な文法や語法を復習しながら関連語句や表現を習得し、保育の現場で欠かせない日常の出来事や実習の心得、実習中のエピソードなど、平易な英語で書かれた英文のリスニングやリーディング、会話の内容を理解する。また手遊び唄やなぞなぞ、子守唄、詩歌を楽しみながら英語の発音、イントネーション、リズムの練習を行う。

授業計画

1. Introduction
2. Chapter 1 Children's Garden
3. Chapter 2 The First Day of the Internship
4. Chapter 3 Out We Go!
5. Chapter 4 Splish, Splash
6. Chapter 5 Pancake Day
7. Chapter 6 Read Me, Tell Me Stories
8. Review, Mid Term
9. Chapter 7 Activities with Watermelons
10. Chapter 8 Happy Birthday!
11. Chapter 9 Children at Play
12. Chapter 10 Baby News
13. Chapter 11 The Tooth Fairy
14. Chapter 12 The Green-Eyed Witch
15. Review, Final Exam

授業の方法

テキストに沿って進み、発表とディスカッションを多く取り入れる。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法

平常点50%、定期試験50%
グループ/個人発表や中間試験は講義の中でフィードバックを行う。

欠席について

欠席1回につき、平常点から2点減点する。その他は学内の規定に準じる。

テキスト

Naoko Akamatsu, *Children's Garden* (Seibido)

参考図書

授業中、必要に応じて指示する。

留意事項

毎回小テストを行い、その結果は平常点に組み入れる。英語辞書必携

基幹科目〈観光〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
国際観光交流論			13427	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
青木 幹生	選択	2	旅行会社、ホテル、海外添乗、海外駐在、通訳ガイド			

授業の到達目標

観光先進国フランスの現状を学び、フランスと比較しながら日本の観光行政、観光資源・宿泊・交通・見本市・国際会議場・エンタテインメントなどの各インフラの問題点を探る。
このクラスではKAISEIパーソナリティのIn(国際性)を養う。
世界観光機関(UNWTO)や国土交通省、観光庁のデータをもとにフランス、イタリア、スペイン、アメリカなどの先進事例を参照し日本の現状と今後の歩むべき方向を考える。

授業の概要

このクラスではKAISEIパーソナリティのIn(国際性)を養う。視座を観光先進国フランスおよびヨーロッパの観光先進国に定め日本の観光資源・観光行政・観光産業を俯瞰する。世界観光機構(UNWTO)、OECD、日本の観光庁などのデータを基に日本の観光政策、国際観光、Two-way Tourismの意味、Outbound、Inboundの健全なバランス、Tourism Exchangeの実例、国際交流の意義を理解する。

授業計画

1. 国際観光交流論概要、フランスはどのような国か？観光立国とは何か、シラバス概要、教科書、評価方法、講師プロフィール
2. 観光大国を支える組織ー観光行政の組織
3. 観光大国フランスから学ぶこと。観光産業の地位、産業としての国際観光
4. フランスの魅力、日本の魅力、外国人からみた日本の魅力と問題点。クールジャパン
5. 国際観光客到着数ランキング、外客誘致法、ウエルカムプラン21、新ウエルカムプラン、ビジットジャパンキャンペーン
6. フランス人のバカンス実態、バカンスを支える制度、OECD先進国のバカンスと労働時間
7. 日本の余暇事情、休暇に対する日本人の考え方、労働時間の国際比較、日本の労働問題、観光大国の条件
8. ヨーロッパの出国率、日本の出国率、低迷する日本のアウトバウンド
9. 国際観光交流と観光産業、MICE、おもてなし、国際会議場、Two-way tourism 21
10. フランスの観光関連インフラ(宿泊、交通、見本市・国際会議場)
11. 国際観光交流とはなにか。姉妹都市、音楽祭、映画祭、フェスティバル、スポーツイベント

12. 観光産業とIT革命、マルチメディアとツーリズム
13. 持続可能な開発、環境とツーリズム、オーバーツーリズム問題
14. フランスの問題点、まとめ(結論)
15. 総まとめの後定期試験60分

授業の方法

教科書を必ず一読しておくこと。煩雑なデータは無視して最後まで読み通しアウトラインを理解しておくことが重要。国際性を養うため海外からの目線で日本を客観視する習慣を身につける。

準備学修

各種メディアを通じて日ごろから世界や日本の観光業界の動きなど情報収集すると楽しく学ぶことができる。

課題・評価方法

平常点50%、定期試験50%

欠席について

止むを得ない欠席以外は認めない。授業中の活動に重点を置いてるので、遅刻、欠席は減点の対象になる。

テキスト

観光大国フランスーゆとりとバカンスの仕組みー(現代図書) 青木幹生著 教室で直接販売する。割引価格2000円

参考図書

『平成24、25、26年度版観光白書』国土交通省編
『やさしい国際観光』財団法人国際観光サービスセンター、岐部武、原 祥隆著

留意事項

与えられた課題に取り組み結果を教室でグループ発表してもらう。双方の実りある授業を目指したい。

教員連絡先

aokimikio@aol.comまたはaokimikio0915@gmail.com

オフィスアワー

出講日の講義前後の時間

基幹科目〈観光〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
観光文化地理論			13838	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
釜須 久夫	必修	2	旅行会社勤務			

授業の到達目標

海外旅行地理の基礎と海外の国々の観光・歴史・宗教・文化に関する知識を学び、このクラスではKAISEIパーソナリティのA(自律)とIn(国際性)を養う。

授業の概要

海外の国々を、アジア、ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア、中東、アフリカ等に分けて、世界の国、都市、地域、島、観光ポイントなどの必修知識を学習する。また同時に地図、写真、動画などのビジュアル資料から現地情報を学習する。

授業計画

1. [アジア] 韓国・台湾・中国
2. [アジア] 香港・マカオ・モンゴル・フィリピン
3. [アジア] ベトナム・ミャンマー・カンボジア・タイ
4. [アジア] マレーシア・シンガポール・インドネシア・インド・ネパール
5. [アジア] スリランカ・モルディブ・パキスタンアフガニスタン・カザフスタン・ウズベキスタン・その他の国々
6. [ヨーロッパ] 英国・アイルランド・ベルギー・オランダ
7. [ヨーロッパ] アイスランド・ノルウェー・スウェーデン・フィンランド・デンマーク・ドイツ
8. [ヨーロッパ] スイス・オーストリア・リヒテンシュタイン・フランス・モナコ
9. [ヨーロッパ] イタリア・バチカン市国・マルタ・スペイン・ポルトガル・ギリシャ
10. [ヨーロッパ] ポーランド・チェコ・ハンガリー・ブルガリア・ルーマニア・ロシア・その他の国々
11. [南北アメリカ] 米国・カナダ
12. [南北アメリカ] メキシコ・キューバ・ベレー・ブラジル・アルゼンチン・その他の国々
13. [オセアニア] オーストラリア・ニュージーランド・グアム・フィジー・その他の国々
14. [中東・アフリカ] トルコ・イスラエル・アラブ首長国連邦・エジプト・南アフリカ・その他の国々
15. 「総括」と試験

授業の方法

学習内容とリンクして、問題集や地図・写真・動画などのビジュアル資料を通して現地情報を学習する。

準備学修

事前に指示された箇所を予習、復習してくること。

課題・評価方法

平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席は原則として認めない。欠席の場合は原点の対象とする。

テキスト

『海外旅行実務 海外観光資源』JTB総合研究所
『海外観光地理 サブノート』JTB総合研究所

留意事項

必要に応じて、授業中に指示を行う。

教員連絡先

sam@alohawalker.net

基幹科目〈観光〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
ハワイ文化研究			13965	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
釜須 久夫	選択	2	旅行会社勤務			

授業の到達目標

ハワイの文化を研究する上で、文化を育んだハワイの歴史とその背景を学び、文化が伝わるプロセスと様々なハワイ特有の文化を学び理解をより深める。またハワイの精神である「アロハスピリット」を学ぶ。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）とIn（国際性）を養う。

授業の概要

授業のテーマに関連した講義の他に、ビジュアルやビデオなどを用いてハワイ文化を視覚的に学習する。また小テストや問題集などを取り入れて、ポイントとなる箇所を復習する。

授業計画

1. ハワイの歴史(1) ポリネシア文化圏とハワイ諸島の誕生
2. ハワイの歴史(2) ハワイの信仰と神話
3. ハワイの歴史(3) ハワイ王国の歴史
4. ハワイの歴史(4) ハワイのフラの歴史 古典フラと現代フラ
5. ハワイの歴史(5) 日本人移民の歴史
6. ハワイの歴史(6) 戦時下の日系人
7. ハワイの歴史(7) 戦後のハワイと観光王国ハワイ
8. ハワイの言語(1) ハワイ語の基礎知識
9. ハワイの言語(2) ハワイ語の会話
10. ハワイの言語(3) ハワイアンソングに使われる単語
11. ハワイの文化(1) ハワイの食文化と暮らしの習慣
12. ハワイの文化(2) ハワイの伝統工芸
13. ハワイの文化(3) ハワイのミュージックとフェスティバル
14. ハワイの文化(4) ハワイの伝統文化継承と自然保護
15. 総括 & 試験

授業の方法

講義とビジュアルプレゼンテーションや小テストを中心とする。

準備学修

事前に指示されたテーマについて、予習、復習してくること。

課題・評価方法

平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席は原則として認めない。欠席の場合は原点の対象とする。

テキスト

なし

留意事項

必要に応じて、授業中に指示を行う。

教員連絡先

sam@alohawalker.net

基幹科目〈観光〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
手話コミュニケーション I			13428	II	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
若生 茂嗣／大川 能子	選択	1				

授業の到達目標

- ・ 外見から分かりにくい聴覚障害者の暮らし、歴史などを学ぶ事によって同じ社会に生きる事を学ぶ。
 - ・ 聞こえないという事を理解し、接し方やコミュニケーション方法を習得する。
 - ・ 手話で自己紹介が出来るようにする。
 - ・ 簡単な会話が出来るようにする。
- このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）を養う。

授業の概要

- ・ 音声言語と視覚言語の違いを理解する。
- ・ 手話を言語とする聴覚障害者の歴史・文化などの問題を学ぶ。
- ・ 聴覚障害者の暮らしを知り、情報バリアフリーについて考える。
- ・ 聴覚障害者の聞こえのしくみと制度を学ぶ。
- ・ 手話で自己紹介する。
- ・ 基本的な会話手話を習得する。
- ・ レクリエーション

授業計画

1. オリエンテーション「聞こえないこととは」「コミュニケーションとは」/手話表現/指文字
2. 実技(伝え合ってみよう)
3. DVD映画「ゆずり葉」鑑賞
4. 実技(名前)
5. 聴覚障害者の課題1
6. 実技(趣味)
7. 実技(仕事)
8. 聴覚障害者の課題2
9. 実技(家族)
10. 実技(地図1)
11. 聴覚障害者の課題3
12. 実技(地図2)
13. 実技(自己紹介しましょう)
14. 実技試験
15. まとめ

授業の方法

DVDを使って進める。
視覚的ゲーム
手話実技・講義

準備学修

単語学習

課題・評価方法

平常点50%、定期試験50%

欠席について

校規に従う。

テキスト

手話奉仕員養成テキスト 手話を学ぼう 手話で話そう（全国手話研修センター）

参考図書

日本語・手話辞典

基幹科目〈観光〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Business English			13935	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
釜須 久夫	選択	2	旅行会社勤務			

授業の到達目標

このクラスではKAISEIパーソナリティのIn（国際性）を学ぶ。CDを聴きネイティブスピーカーの英語に慣れるようにする。ビジネスで実際に使われる慣用的な表現を学ぶ。TOEIC受検対策を兼ねている。また就活の社会常識として、実社会の現状について具体的に解説する。

授業の概要

仕事の仕組みや、標準的なビジネス・コミュニケーションを学ぶ。Fax,e-mail,ビジネスレター、封筒書き、ファイリング、などのオフィスワークの常識的な事務についても学ぶ。

授業計画

1. 講義概要、教科書、評価方法、シラバス（講義計画）
2. Unit 1. Job Hunting(1), Writing a resume
3. Unit 2. Job Hunting(2), Writing an application letter
4. Unit 3. Job Hunting(3), Arranging an interview
5. Unit 4. Job Hunting(4), A job interview
6. Unit 5. Job offer
7. Unit 6. The first day at work
8. Unit 7. Preparing to work
9. Unit 8. Telephoning (1) Answering
10. Unit 9. Telephoning (2) Taking a message
11. Unit 10. Telephoning (3) Making an appointment
12. Unit 11. Visiting a client
13. Unit 12. Receiving a visitor(1) Preparation
14. Unit 13. Receiving a visitor(2) Meeting at Narita Airport

15. 総括 & 試験

授業の方法

シラバス通りに進むので予習、復習を励行すること。

準備学修

予習、復習の励行

課題・評価方法

平常点50%、定期試験50%

欠席について

教室での学習に50%の評価をしているので欠席は減点の対象になる。

テキスト

「Business Talkやさしいオフィス英語」城由紀子、島田拓司、Edward J. Schaefer著、成美社

参考図書

「国際秘書英語」亀山和夫、成美社

「国際ビジネスコミュニケーション入門」亀山和夫、八尾 晃共著、成美堂

留意事項

毎回予習、復習を励行すること。単語テストを随時行うので普段から正確に単語を書けるようにしておくこと。

教員連絡先

sam@alohawalker.net

基幹科目〈観光〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
English for Tourism			13937	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
青木 幹生	選択	2	旅行会社、ホテル、海外駐在、海外添乗、通訳ガイド			

授業の到達目標

観光産業に必要な基本的英語を修得する。
観光英検3、2級レベル
KAISEIパーソナリティのIn国際性を学ぶ

授業の概要

駅、空港、ホテル、レストランなど各場面で必要な基本的な英語を学ぶ

授業計画

1. 講義概要（講師プロフィール紹介、観光英語とは、シラバス、教科書、参考書、授業の進め方、予習・復習、授業の規律）
2. Lesson 1: Tokyo Station
3. Lesson 2: Exploring Metropolitan Tokyo
4. Lesson 3: Restaurant at Ginza
5. Lesson 4: Kakunodate, a town of Samurai and Cherry blossoms
6. Lesson 5: Old Private Houses in Takayama
7. Lesson 6: Hatcho Miso in Okazaki
8. Lesson 7: Toyota Automobile Museum
9. Lesson 8: Cormorant Fishing
10. Lesson 9: Uji Byodoin
11. Lesson 10: Kyoto Studio Park
12. Lesson 11: International Phone Calls
13. Lesson 12: Bakery Shops in Kobe
14. Lesson 13: White Heron Castle
15. 総まとめのあと定期試験60分

授業の方法

教科書付属のCDを活用して授業を行う。

準備学修

教科書及び付属のCDを活用して予習・復習をすること。

課題・評価方法

平常点50%、定期試験50%

欠席について

減点対象になる。

テキスト

Discovering Japan through Tourism English「観光英語で日本発見！」英宝社

著者：河原俊昭、榎木蘭鉄也、岡戸浩子、小宮富子、吉川 寛、石川有香、徳地慎二、ジェームス・ドレイトン

参考図書

観光英語検定試験全国語学ビジネス観光教育協会が実施している民間資格の観光英語検定試験2級、3級問題集

旅行会社、ホテル、観光案内書などにあるインバウンド用の英語観光パンフレットは参考になるので各自入手して活用すること。

留意事項

予習・復習の励行。欠席、遅刻、授業中の怠慢は減点対象になる。随時単語テストを実施するので英単語の綴りを正確に覚えること。

教員連絡先

aokimikio0915@gmail.comまたはaokimikio@aol.com

オフィスアワー

出講日講義の前後の時間

展開科目〈観光〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
WEBトラベルプレゼンテーション			13839	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
釜須 久夫	選択	2	旅行会社勤務			

授業の到達目標

国内外のトラベルやサービス業関連のWEBページの分析を通して、WEBプレゼンテーションの役割とポイントを学習し、基本条件や専門知識を習得する。また実習では理想的なWEBプレゼンテーションと役に立つプレゼンテーションのテクニックを養う。このクラスではKAISEIパーソナリティのA(自律)とI(知性)を養う。

授業の概要

WEBプレゼンテーションに必要な基本条件と専門知識を学び、実習でテーマに基づいた企画書、日程表、パンフレットなどの作成作業や発表等のプレゼンテーションを通して、効果的な作成方法や発表のテクニックを学ぶ。

授業計画

1. WEBトラベル・プレゼンテーション概要(テーマの説明と内容の紹介)
2. トラベルやサービス業関連のWEBページの分析
3. WEBプレゼンテーションの基本条件(テーマ・イメージ・キーワード)
4. WEBプレゼンテーションの基本条件(ページレイアウトとデザイン制作フロー)
5. プレゼン資料の作成方法と発表のポイント
6. WEBプレゼンテーション実習(1)
7. WEBプレゼンテーション実習(2)
8. WEBプレゼンテーション実習(3)
9. WEBプレゼンテーション実習(4)
10. WEBプレゼンテーション実習(5)
11. WEBプレゼンテーション実習(6)
12. WEBプレゼンテーション実習(7)
13. WEBプレゼンテーション実習(8)
14. WEBプレゼンテーション実習(9)
15. 総括&試験

授業の方法

講義と小テスト、プレゼンテーションの資料作成と発表等の実習を中心とする。

準備学修

事前に指示された箇所を予習、復習してくること。

課題・評価方法

平常点70%、定期試験30%

欠席について

欠席は原則として認めない。欠席の場合は原点の対象とする。

テキスト

なし

留意事項

必要に応じて、授業中に指示を行う。

教員連絡先

sam@alohawalker.net

展開科目〈観光〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
神戸学			13841	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
箕野 聡子	選択	2				

授業の到達目標

地元神戸の成り立ちを知り、その特徴がどのように文化的資源として活用されているかを考える。このクラスではKAISEIパーソナリティのI(知性)を養う。

授業の概要

神戸を舞台とした文学作品に触れながら、神戸文化の特徴を学ぶ。観光資源としての価値に注目するため、各自神戸の町に出てレポートし、発表を行う。

授業計画

1. 神戸海岸通りと旧居留地
陳舜臣「枯草の根」を読み、神戸居留地の歴史を振り返る。
2. 神戸の海岸線
村上春樹「ノルウェイの森」・「5月の海岸線」を読み、神戸の海岸線埋め立てによる開発を考察する
3. 雑居地文化と異人館通り
宮本輝「花の降る午後」を読む。雑居地に暮らし、戦争を乗り越えた外国人たちの文化を考察する。神戸のスイーツやパン、洋食文化にも触れる。
4. 神戸モダニズム
稲垣足徳「星を造る人」を読み、トーアロード周辺から発信された、神戸モダニズムについて考察する。
5. 他地域からの視点
堀辰雄「旅の絵」を読み、東京からのお客様である堀辰雄を案内した竹中郁のエッセイにも触れる。外から見た神戸文化について考察する
6. ミステリー発祥の地としての神戸
横溝正史「虹のある風景」を読み、新開地出身のミステリー作家が描く労働者の町神戸の文化発展を考察する。
7. 川崎造船所と神戸の町
久坂葉子「ドミノのお告げ」を読む。カワサキワールド・神戸海洋博物館にも触れ、神戸の経済を支えて来た川崎造船所の神戸経済への影響力を考察する。
8. 鈴木商店を支えた女性
玉岡かおる「お家さん」を読む。かつて世界を掴んだ神戸の個人商店鈴木商店。その歩みと、鈴木商店を支えた神戸の女性の生き方を考察する。
9. プレゼンテーション発表

10. プレゼンテーション発表

11. プレゼンテーション発表

12. プレゼンテーション発表

13. 映画に登場する神戸の風景

有川浩「阪急電車」における神戸ロケの意義について考察する。

14. 神戸モダニズムの転換期

昭和40年代の神戸と阪神間文化について考察する。かつてモダンと呼ばれた文化がレトロと呼ばれるようになった時、神戸では何が起ったのか。文学作品を参考資料として考察していく。

15. 神戸と坂の物語

神戸には、坂があるからこそ生まれた物語がある。それらを、考察していくことでまとめとする。

授業の方法

前半は講義形式となるが、後半は、各自が取材した神戸についての発表を行い、それについてのディスカッションを行う。

準備学修

Web参照すること。

課題・評価方法

毎回ノートの提出を求める。ノートは、次の週に教員が評価して返却する。出席状況(30%)、ノート評価(30%)、発表(20%)、レポート(20%)

欠席について

規定に従う

テキスト

必要に応じて随時紹介し、プリントを配布する。

参考図書

必要に応じて随時紹介する。

教員連絡先

mino@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。